

# 離乳子豚における硫酸コリスチン代替品としての 二ギ酸カリウムの有用性

大野真美子<sup>†</sup>      有常真奈美      堀北哲也

日本大学生物資源科学部（〒252-0880 藤沢市亀井野 1866）

（2025 年 4 月 3 日受付・2025 年 5 月 30 日受理・2025 年 9 月 30 日公開）



本文はこちら  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/78/9/78\\_e125/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/78/9/78_e125/_article/-char/ja)

## 要 約

本研究では、二ギ酸カリウムの離乳子豚への有用性を飼料添加物用硫酸コリスチンと比較した。離乳子豚を二ギ酸カリウム群 15 頭、コリスチン群 15 頭、無添加群 15 頭に分けた。投与は 36 日間とし 1 日増体量を求め、投与開始日から 3 日おきに便の性状及びグラム染色によるグラム陰性菌と陽性菌の面積割合からグラム陰性菌割合を求めた。試験期間中の 1 日増体量は、全期間で二ギ酸カリウム群とコリスチン群が同程度であった。また、試験期間中のグラム陰性菌割合の推移は、日齢だけでなく投与した飼料添加物の影響を受けており、二ギ酸カリウム群は試験期間を通して高い割合で安定していた。本研究より、二ギ酸カリウムは 1 日増体量、便性状及びグラム陰性菌割合においてコリスチンと同程度の効果があったと考えられる。

——キーワード：硫酸コリスチン、便性状、グラム陰性菌割合、二ギ酸カリウム、子豚。

----- 日獣会誌 78, e125～e129 (2025)